吸入（薬液）

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | 　　　　　　　　　　　　（　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 | 吸入（薬液） |
| 実施手順 | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。吸入器　吸入口またはマスク　接続チューブ　時計　速効性手指消毒剤　＜吸入薬液＞朝（1回目）：A吸入液1本（0.5mg）　B吸入液1本（2ml）　C吸入液3滴昼（2回目）：B吸入液1本（2ml）　C吸入液3滴 |
| 準　備 | 1. 登校時の確認

・児童生徒の体調と、登校前の夜間、朝方等に　吸入した場合は、その時間を確認する。1. 保護者から依頼があったときに実施する。

・呼吸状態、喘鳴の有無、顔色など、観察する。・喘鳴や痰がある場合は事前に吸引する。・本人の姿勢を整える。1. 手を洗う。（石けん、あるいは手指消毒剤）
2. 吸入器に薬液を入れる。
 | ・自宅で薬液吸入を実施した　際は、保護者に実施時間を　連絡帳に記入してもらう。・1回目と2回目は、3時間以　上開けて実施する。・吸入液が本人のものか、薬剤名と量を複数で確認する。 |
| 実　施 | 1. 本人に吸入すること伝え開始する。

・吸入中の観察をする。・鼻腔や口腔内に痰が貯留した場合は、一時中断して吸引する。・薬液がなくなったら終了する。・本人に吸入が終わったことを伝える。* 看護師のみの実施となる。
 | ・呼吸状態、喘鳴の有無、顔色などを確認する。・実施後30分は飲食を避ける。・呼吸状態、喘鳴の有無、顔色など継続して観察する。・使用薬剤の副作用として、　心悸亢進、悪心嘔吐、手指　振戦などに注意する。* 予備の吸入液は保育室（教室）に保管する。
 |
| 終　了 | 1. 使用物品を水洗いし、持ち帰る。
2. 連絡帳に記入する。
 |  |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
|  |  |  |
|  |  |  |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者 | （母）（父） | 　　　－　　　　－　　　－　　　　－ |
| 主治医 | 　　　　　病院（小児科） | 　　　－　　　　－ |
| 救急搬送 |  |
| その他 |  |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）